

くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
44

2026年
7月発刊



富山県済生会富山病院全景

「クラウドファンディング」 目標達成のお礼とご報告

トピックス

- 看護部長就任にあたり
- 市民公開講座を開催しました
- 患者満足度調査
- 令和7年度 看護支援週間
- ファインプレー賞を授与
- 健康長寿を支える心臓リハビリテーション
- 無料健康相談会・健康教室について
- 新任医師紹介・新任自己紹介
- 理念・基本方針・寄付のお礼



社会福祉法人 済生会

富山県済生会富山病院

<https://www.saiseikai-toyama.jp/>

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



看護部長就任にあたり

富山県済生会富山病院 看護部長 トノヤ トモコ 殿谷 智子

皆さま、はじめまして。この度、前任の看護部長よりバトンを受け取り、2026年4月より看護部長に就任いたしました殿谷と申します。皆様方のお力添えをいただきながら、「すべての患者さんとその家族の皆さまに対して、患者さん中心の専門看護を提供すること」を目標として、患者さんに寄り添った看護が提供できる組織づくりに努めてまいります。また、地域医療の連携や多職種協働を重視し、在宅支援や訪問看護にも力を入れてまいります。これにより、患者さんが安心して療養できる、地域に根ざした医療に貢献していきたいと考えております。

最後に、時代の変化に対応しつつ、職員とともに成長していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

市民公開講座を開催しました

内科 大原 一将

去る2026年1月12日、富山県民会館にて市民公開講座を開催いたしました。当日はあいにくの大雪予報で、ニュース等でも外出を控えるよう呼びかけられる厳しい天候となりましたが、私たちの予想を大きく上回る150名もの方々に足を運んでいただきました。悪天候の中、ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

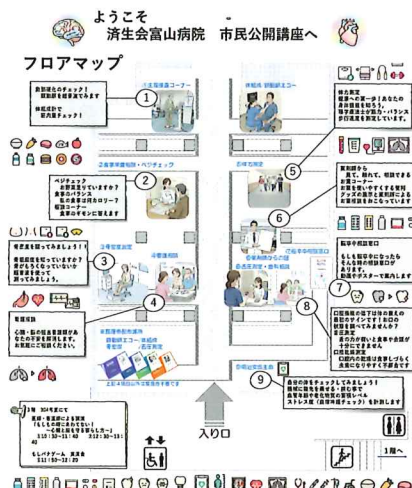
講演会では、循環器内科・脳神経外科の医師、そして看護師が、それぞれの専門の立場から「脳と心臓の健康を守る暮らし方」についてお話ししました。また、講演の合間には「もしバナゲーム」を紹介し、参加者の皆様と一緒に「もしもの時のための話し合い(ACP)」について考える貴重な時間を共有することができました。

体験・展示コーナーでは骨密度測定や頸動脈エコー、体力チェックのほか、薬剤師による服薬相談や看護師による健康相談、また脳卒中相談窓口の案内など専門家に直接聞ける場として活用していただきました。栄養管理科の「ベジチェック(推定野菜摂取量測定)」も好評で、皆様の健康への意識の高さが伺えました。

会場に設けた「リンゴの健康の木」では、皆様に「健康への目標」や「普段気をつけていること」を書いて貼っていただきました。皆様の思いがこもったリンゴのカードで埋めることができ、実り豊かな「健康の木」が完成しました。

当院はこれからも、地域の皆様が安心して健やかな毎日を過ごせるよう、情報の提供とサポートに努めてまいります。

みんなび育でよう！健康の木



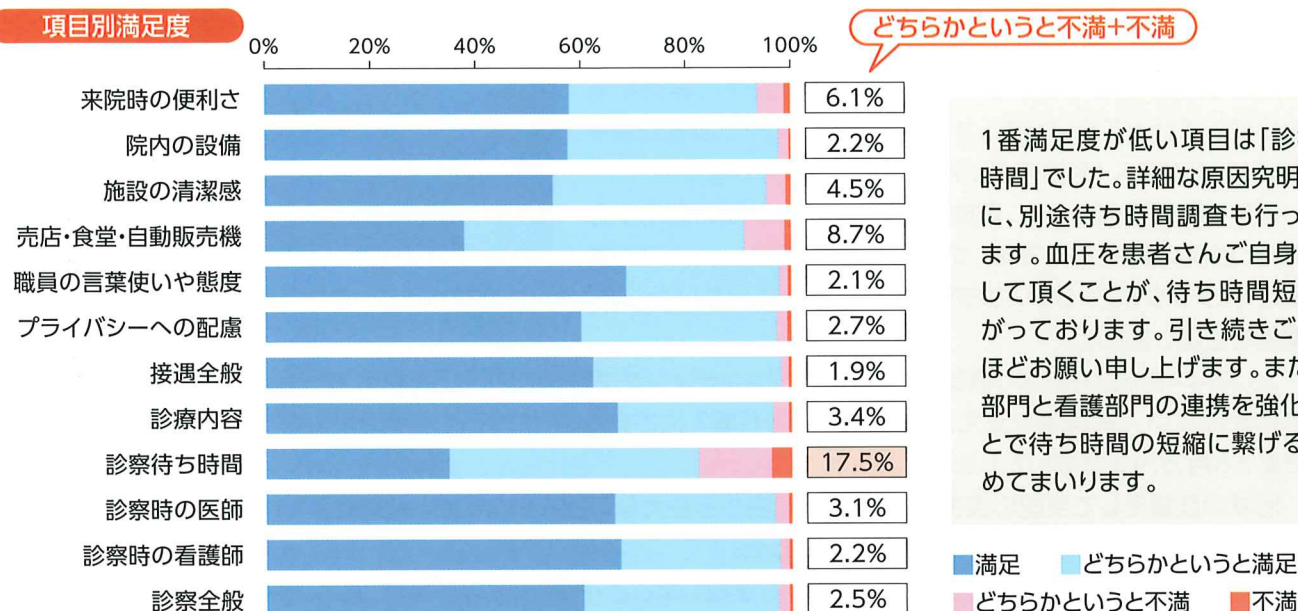
患者満足度調査

当院では毎年患者さんにご協力いただき、満足度調査を実施しております。皆さまからのご意見を職員で共有し、医療サービスの改善及び質の向上に努めております。調査にご協力いただきました患者さんご家族の皆さまに、心より感謝申し上げます。

外来

令和7年10月20日～10月22日 実施 回答者数655人(回収率100%)

項目別満足度



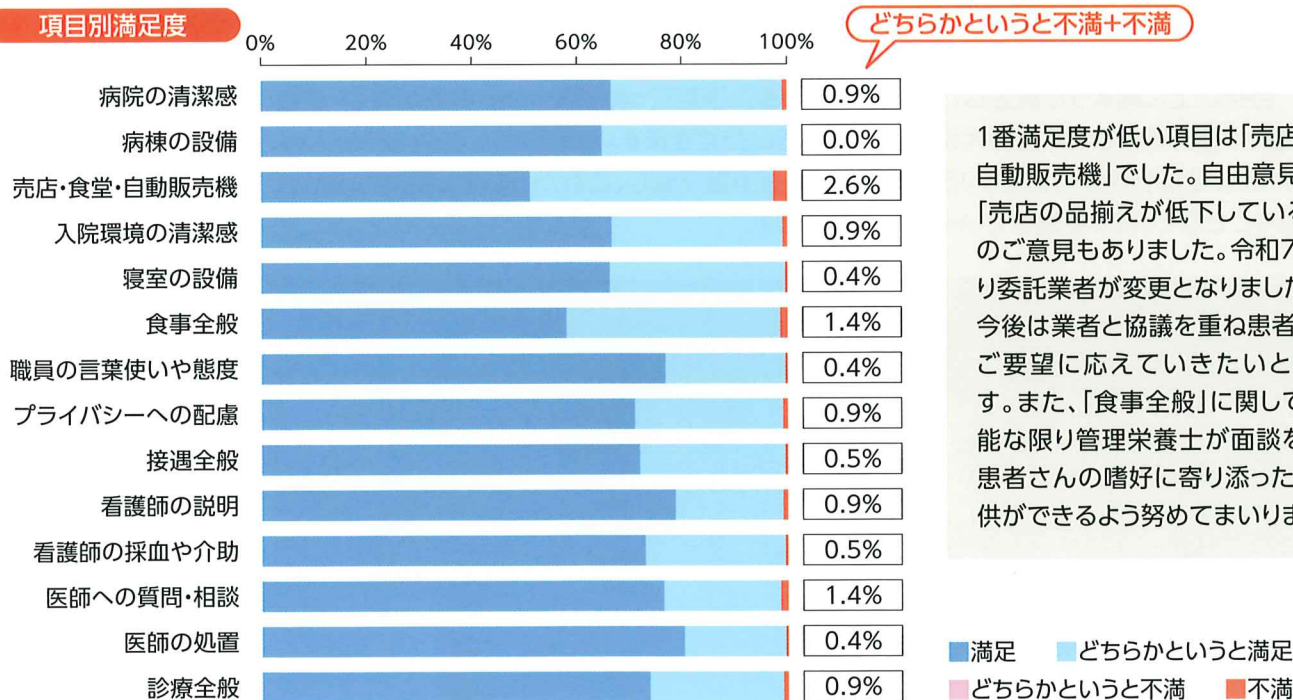
1番満足度が低い項目は「診療待ち時間」でした。詳細な原因究明のために、別途待ち時間調査も行っております。血圧を患者さんご自身で測定して頂くことが、待ち時間短縮に繋がっております。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。また、事務部門と看護部門の連携を強化することで待ち時間の短縮に繋げるよう努めてまいります。

■ 満足 ■ どちらかという満足 ■ どちらかという不満 ■ 不満

入院

令和7年10月1日～12月31日 実施 回答者数231人(回収率92.4%)

項目別満足度



1番満足度が低い項目は「売店・食堂・自動販売機」でした。自由意見として「売店の品揃えが低下している」などのご意見もありました。令和7年度より委託業者が変更となりましたので、今後は業者と協議を重ね患者さんのご要望に応じていきたいと思えます。また、「食事全般」に関しては、可能な限り管理栄養士が面談を行い、患者さんの嗜好に寄り添った食事提供ができるよう努めてまいります。

■ 満足 ■ どちらかという満足 ■ どちらかという不満 ■ 不満

今回の結果をもとに、済生会富山病院では患者さんの治療はもとより、病院全体の医療サービスの改善及び、質の向上に努め、ますます地域の皆さまにご利用いただけるよう職員一同努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療向上推進委員会

「クラウドファンディング」 目標達成のお礼とご報告

～高齢者患者さんの自立と看護師の負担軽減へ～

経営企画室 前田 伸明

入院される患者さんにとって、多くの時間を過ごすベッドは療養に不可欠で、数少ないプライベート空間です。様々な患者さんが快適に過ごせるよう、これまでの療養設備の維持更新を継続して行ってきましたが、いまだに当院では旧式の手動式ベッドが多く(全体の42.5%)更新が遅れています。

近年の物価高騰もあり、電動ベッド更新には多額の費用が必要で、当院の資金だけでは、すべての更新が難しい状況です。

そこで、クラウドファンディングにより、皆様の支援をいただきながら、電動ベッドへの更新による入院環境整備を企画しました。

2026年4月6日(月)より開始したクラウドファンディングプロジェクト「ご高齢の方が多い富山だからこそ無理のない入院環境を支えたい! 電動ベッド導入にご支援を」において令和8年6月19日(金)に目標である8百万円を達成いたしました。

地域の皆様そして全国の支援者の皆様162名から多大な応援をいただき、募集終了11日前という早期のタイミングで目標を達成することができました。

目標の8百万円(ベッド20台分の導入費用)を達成したことで、初年度の計画は確実に実行される運びとなりました。

しかし、当院にはまだ多くの手動ベッドが残されており、より多くの患者さんに一日でも早く安心・安全な入院環境を提供する必要があり、来年度以降も計画的に導入していく方針です。

6月30日までの最終的な金額は9,790,000円、総寄付者数202名超と目標を大きく上回りました。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

目標以上に集まった資金は、翌年度以降に導入予定だった電動ベッドの追加費用(数台分)やオプション機能の拡充費用として全額大切に活用させていただきます。

また、全国各地から温かい応援メッセージも多数頂戴し、これからも地域医療に貢献できるよう努力を怠ることなく、日々精進していく方針であります。



令和7年度 看護支援週間 ～人生100年時代 伸ばそう!健康寿命～

専門・認定・特定看護師委員会 舟田 あい子

令和8年3月3日から6日の4日間、看護支援週間を開催いたしました。渡り廊下でのポスター展示の他、最終日には専門・認定・特定看護師による参加型のイベントを設け、多くの皆さまにご好評いただきました。『血管年齢測定』では、実年齢との違いを体験し日々の生活習慣を見直すきっかけ作りをお手伝いしました。『脳卒中・ACP相談』では熱心に耳を傾け、思いを話される姿が印象的でした。『心臓マッサージ・AED体験』では「実際に触るのは初めて」という方も多く、「思ったよりも力があるね」「AEDがどこにあるのか気にかけてみよう」といった声が上がリ、地域全体で命を守る意識が高まった非常に意義のある時間となりました。開催中、皆様からいただいた「参加できて良かった」といった温かいお声は、私達にとって大きな励みとなりました。今回のイベントが健やかな毎を送り続けるための一助となれば幸いです。今後も地域に寄り添う病院として、皆様の健康を支える取り組みを続けてまいります。



医療安全推進週間の取り組みで 【ファインプレー賞】を授与しました

医療安全対策室

医療安全推進週間とは厚生労働省が毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間と定めている啓発期間です。令和7年度は11月23日から11月29日に設定されました。安全な医療を提供するための意識を高めることを目的としており、毎年様々な取り組みを行っています。

令和7年度の医療安全推進週間の取り組みとして、当院では事故に至る前の気づきを報告する「ゼロレポート」を募集し、実際に事故を未然に防いだことを報告したスタッフに【ファインプレー賞】を授与しました。

医療安全というと、事故が起こった後の対策に目が向かいがちですが、本当に大切なことは「事故を起こさないための未然の気づき」です。今回の表彰は小さな違和感を見逃さず迅速に対応する姿勢を組織全体で共有し称えあうことを目的としています。

今後も職員ひとり一人が小さな違和感を見逃さず、患者さんに安心して受診していただける医療環境を築いていきたいと思ひます。

健康長寿を支える心臓リハビリテーション

～富山の心臓リハビリテーションと人材育成の中核施設として～

研修教育責任者 能登 貴久

平均寿命が延び、「人生100年時代」という言葉が提唱されてから、まもなく10年が経とうとしています。現在では70～74歳の約3人に1人が働いており、90歳を超えてフルマラソンを完走する人もいるなど、高齢になっても活動的に生活する方が増えています。

しかしその一方で、平均寿命と健康寿命の差は依然として大きく、男性では約9年、女性では約12年あるとされています(図1)。

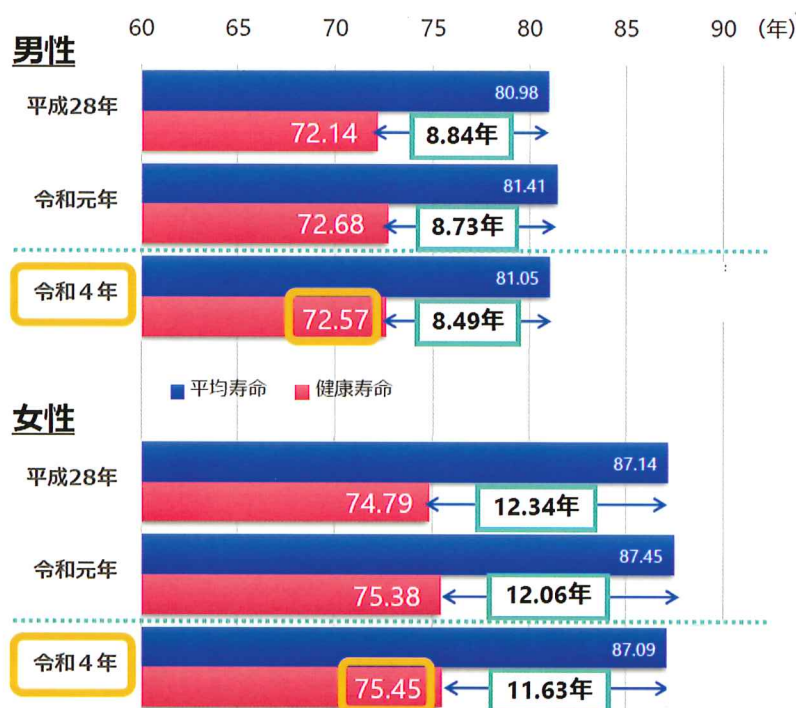


図1：「健康寿命の令和4年値について：厚生労働省健康・生活衛生局健康課」

健康寿命とは、介護や医療に大きく依存することなく、自立して生活できる期間を指します。長生きするだけでなく、元気に生活できる期間を延ばすことが、これからの医療に求められています。年齢を重ねれば誰しも病気にかかる可能性があります。特に心筋梗塞や心不全などの循環器疾患は、高齢化に伴い患者数が増加しています。こうした病気は命に関わるだけでなく、退院後も息切れや体力低下、不安感などによって活動量が減り、生活の質が低下することがあります。その結果、再入院や要介護状態につながることも少なくありません。

そこで重要な役割を果たすのが心臓リハビリテーションです。

心臓リハビリテーションは、心筋梗塞や心不全、心臓手術後などの患者さんに対して、運動療法や生活指導、再発予防のための支援を行い、“その人らしい生活”を取り戻すための包括的な治療です。

心臓病になると、「運動すると心臓に負担がかかるのではないかと不安になり、必要以上に身体を動かさなくなる方が少なくありません。しかし、適切な評価のもとで行う運動療法は、体力や筋力の向上だけでなく、

再発予防や再入院の減少、生活の質の向上にもつながることがわかっています。また、食事や服薬、生活習慣の改善について専門職が継続的に支援することで、患者さんが安心して社会生活を送ることができるようになります。

済生会富山病院では、2009年より心臓リハビリテーションに取り組み、多くの患者さんを支えてきました。当院は外来心臓リハビリテーションを積極的に実施し、退院後も継続した支援を行っています。

心臓リハビリテーションで中心的な役割を担う資格が「心臓リハビリテーション指導士」です。この資格は、医師だけでなく、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など、多職種が取得することができます。しかし、受験には一定期間の実地経験や専門的な研修が必要であり、高い専門性が求められる資格として知られています。

一方、日本には約358万人の心疾患患者さんがいるとされる中、心臓リハビリテーション指導士は全国で約7,300人に限られています。単純計算では、指導士1人あたり約490人の患者さんを支えていることになり、専門人材の育成は全国的な課題となっています。

その人材育成を担うのが「心臓リハビリテーション指導士研修施設」です。研修施設では、他施設から医師や看護師、理学療法士などを受け入れ、指導士に必要な知識や経験を習得できるよう教育を行っています。しかし、研修施設は全国でも33施設しかなく、その多くが都市部に集中しています。日本海側には秋田、山形、新潟、石川の4県に1施設ずつであり、地域で専門人材を育成する環境の整備が求められていました(図2)。

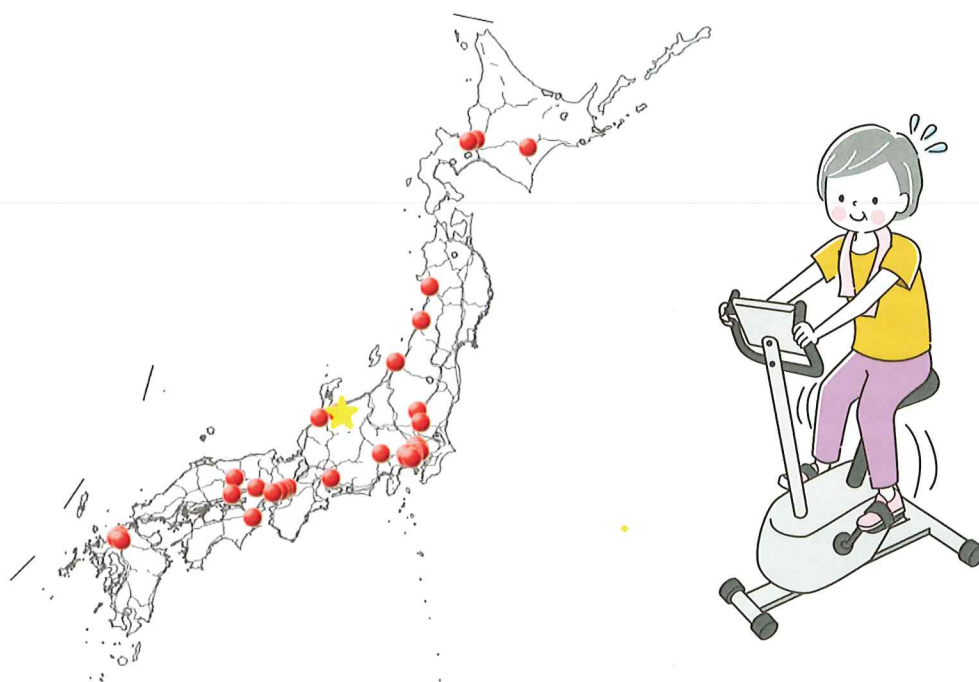


図2：「全国の研修施設：日本心臓リハビリテーション学会ホームページより作図」

このたび済生会富山病院は、「心臓リハビリテーション指導士研修施設」に認定されました。北陸では2施設目、富山県では初めての認定となります。これまで積み重ねてきた診療実績や教育体制、多職種連携が評価された結果であり、当院にとって大きな節目となりました。

今後は地域の患者さんへの質の高い心臓リハビリテーションを継続するとともに、富山県および北陸地域の専門人材育成にも積極的に取り組んでまいります。心臓病は治療して終わりではありません。

退院後に安心して生活を送り、自分らしい人生を続けていくための支援が重要です。心臓リハビリテーションは、患者さんの健康寿命を延ばし、地域での暮らしを支える医療です。

当院ではこれからも、患者さん一人ひとりが安心して地域で生活できるよう、心臓リハビリテーションを通じた支援と人材育成に努めてまいります。

無料健康相談会・健康教室について

医療福祉相談室 室長補佐 角谷 良治

当院では、概ね月1回医師・保健師・看護師等による健康相談会・健康教室を実施しています。当相談会を実施することは、社会福祉法に定められており開催内容・場所・日時を広く周知することが求められています。内容については、院内掲示及びホームページに掲載し、行政や関係機関にも年3回程度チラシを配布しています。令和7年度の相談者は、242名となり日頃の体調管理や受診の必要性を考えること等に役立てられたと思っています。

令和8年度は以前から開催していた、心臓病教室も当相談会として位置づけ、多くの方が心臓病に対して、関心を持っていただく機会を設けています。どうぞ自由にご参加下さい。また、無料健康相談会・健康教室についてのご質問等は、医療福祉相談室で承っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

令和7年度無料健康相談会開催実績

4月16日	健康相談会
5月13日	看護の日
6月18日	健康相談会
7月17日	健康講座（担当:院長）（於:当院研修ホール）
8月18日	健康相談会
9月17日	健康相談会
10月24日	健康相談会
11月19日	健康相談会
12月17日	健康相談会
1月12日	市民公開講座（於:富山県民会館）
2月20日	健康相談会
3月18日	健康相談会



令和8年度無料健康相談会・健康教室開催実績及び予定

5月13日	看護の日
5月14日	心臓病教室（担当:医師）
6月10日	健康相談会
7月 8日	心臓病教室（担当:理学療法士・公認心理士）
8月12日	健康相談会
9月18日	心臓病教室（担当:臨床検査技師）
10月14日	健康相談会
11月 6日	心臓病教室（担当:薬剤師）
12月 9日	健康相談会
1月14日	心臓病教室（担当:看護師・医療ソーシャルワーカー）
2月10日	健康相談会
3月10日	健康相談会



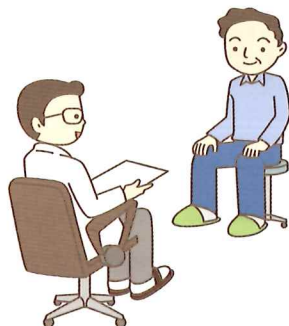


ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成



バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

【患者さんの権利】

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

【患者さんの責務】

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務



済生会富山病院報
くすのきだより

発行所

富山県済生会富山病院
院長 亀山 智樹

【編集委員会】

能登 貴久	山崎 大峰	小笠原亜海
久和 弘子	森 拓也	越善 葉月
新田 展子	前田 伸明	藤塚 菜々
森井 有梨	河瀬 晶美	
上田 周平	宮成 晶子	

令和8年度前期
ご寄付のお礼

石黒 茂雄 様

貴重なご厚志ありがとうございました。